公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
燕·弥彦総合事務組合	水道事業	_	

実施状況

抜本的な改革の取組								
	事業廃止	民営化・	受営化・ 地方独立 行政法人 間譲渡 への移行	広域化等	民間活用		現行の経営	
777	于木冼工	民間譲渡			指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	体制を継続
				•			•	
			l	l	l	<u> </u>	<u> </u>	

抜本的な改革の取組状況

取組事項 (水道事業)広域化等 (実施類型) (取組の概要) (実施(予定)時期) 施設の 共同設置・利用 燕市・弥彦村の共通課題である浄水場施設 経営統合 がまれている。 の老杯化等の課題に対して、既存浄水場を練 廃合し、新たに1つの統合浄水場を建設する ことを基本とした浄水場施設の再構築を行う。 平成 実施済 ことを基本とした浄水場施設の再構染を行つ。 また、両市村の水道事業は既存の燕・弥彦総 合事務組合で経営を行い、経営の効率化を図 る。経営統合により、①水道施設の効率的・ 効果的な配置、②交付金活用(約94億円)に 4 31 1 施設管理の 管理の一体化 共同化 が来げるにに、とくりでは内があっています。 よる建設コストの削減、③管理体制の強化、 ④水道サービスの向上、⑤持続可能な財政 基盤の確立、の効果が期待できる。 実施予定 年 月 \Box (取組の効果額) (取組の効果額内訳) 百万円(年) 効果額未算定 (取組の概要) (検討状況・課題) 検討中

取組事項 民間活用(PPP/PFI方式の活用) (取組の概要) (方式) (導入·契約(予定)時期) (取組の概要) 浄水場施設の再構築における送配水管整備は、浄水場建設に伴じい必要となる送配水管 (延長約22km、最大口径700)について、DB方 式を導入した。これにより、本事業費は従来 方式で整備する場合と比較して、約3%のコスト 結減効果が見込める。同様に統合浄水場 等整備については、設計施工運転管理を一 括契約を行うDBO方式を導入した。民間事業 者のノウハウが十分に発揮されることから、 従来方式と比較して、約10%のコスト縮減効 果が見込める。 BTO方式 平成 実施済 BOT方式 (コンセッ ション方式) B00方式 31 4 10 港湾運営 会社制度 DB方式 • 実施予定 月 年 日 DBO方式 • その他 (取組の効果額) (取組の効果額内訳) 百万円(年) 83 ·送配水管整備事業(DB) 年▲23百万円 · 浄水場建設事業(DB) 不明 ·浄水場運転維持管理(O) 年▲60百万円 (取組の概要) (検討状況・課題) 検討中